

生活

旬のやさい 里芋^{さいも}
親芋から子芋、孫芋とできるため子孫繁栄の縁起物とされました。独特のぬめりは胃腸を守るはたらきがあるムチン、食物繊維からなります。

くらしのこよみ
うつくしいくらしかた研究所

◎ 東京新聞

● 重複がん

がんがそれぞれ別個に、異なる臓器に発生したと考えられるケースを重複がんといいます。胃がんの重複がんでも多いのが大腸がん。そのため、胃がんの手術の前には大腸も検査します。もし重複



在宅医療のカルテ

がんが見つければ、なるべく同時に治療する必要があるからです。

八十代のYさんは、胃がんが胃の壁に穴を開けて腹膜炎になったため大病院に入院しました。検査の結果、胃がんに加えて食道がんがあることが判明。迷った末、どちらのがんの治療もせず、経過観察しながら最後まで家で生活することを希望しました。

腹膜炎は治療によって快方に向かい、食事ができるようになったため、退院して当院のサポートを受けての療養が始まりました。数

カ月すると、胃がんが大きくなって痛みのコントロールが必要になりました。それでもYさんは、少量の水分を取ることなどによって

経過観察の是非



「また来ますね」。手を握って診察を終える

約一年にわたり、在宅療養を続けることができました。奥さまは介護面での不安もあり、幾度となく入院を勧めたのですが、最終的に

本人の意思を尊重しました。

重複がんの治療では、より進化した方のがんに生存期間が左右されます。高齢者の場合は、手術に耐えられるのかにも配慮して治療方法が決まられていきます。胃がんだけでも手術をしていけば、Yさんはもう少し長く生きられたのでしょうか。常に自問しながらの診療でした。患者は、医師の説明によって治療方針を決めなくてはならず、その意味で医師の考えに運命を託すこととなります。場合によっては外科と内科で見解が異なることもあり、ますます判断が難しくなります。重複がんの治療には、医師の豊富な経験に基づくアドバイスが必要になります。

(川崎高津診療所院長)

※Dr松井英男の「在宅医療のカルテ」は今回で終了します。